

# DesignScope®

victor

## 3DWeave コンポジット

炭素繊維、アラミド、ガラス繊維の織物は、コンポジット材料として、航空・宇宙、自動車、発電用風車、医療分野などで幅広く使用されています。現在はシート状の織物を積層する方法が多用されていますが、より直接的に三次元構造の織物を織る方法が注目されています。



<https://www.compositesworld.com/suppliers/mageba>



3DWeaveコンポジットは、ドイツのEAT社が開発した三次元構造の織物を設計するためのツールです。オルソゴナルやアングルインターロックといった三次元織組織をビジュアルな環境で開発することができます。

ドイツのドレスデン工科大学（ITM）など、この分野での先進的な研究機関などで使われています。また、マゲバ、ドルニエ、ストーブリなど、有力織機メーカー、ジャカードメーカーとも緊密に連携して、開発しています。

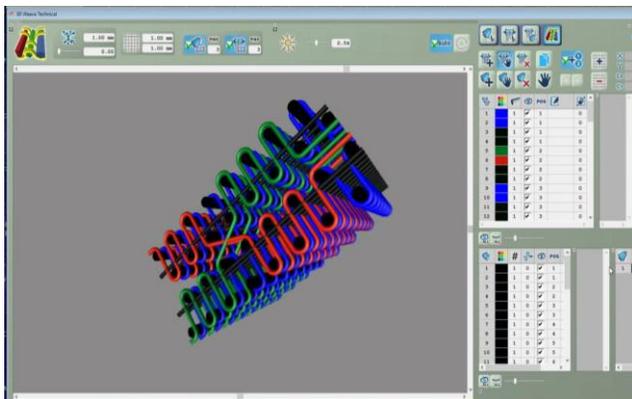
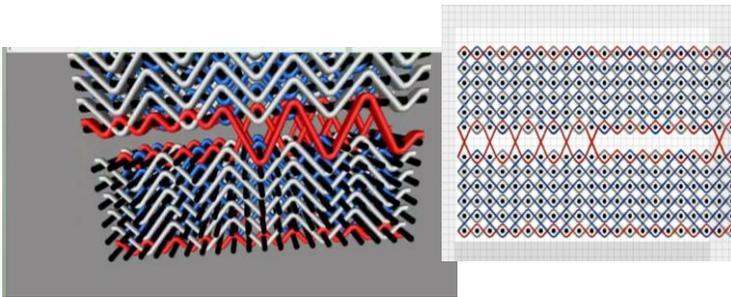
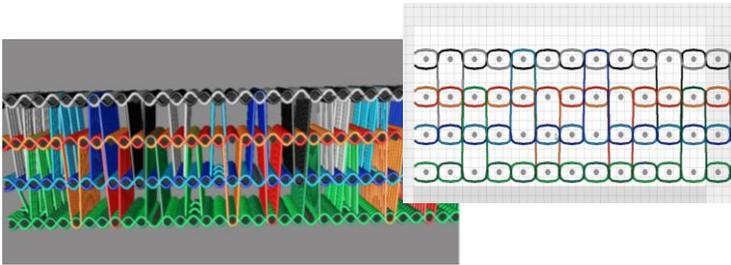
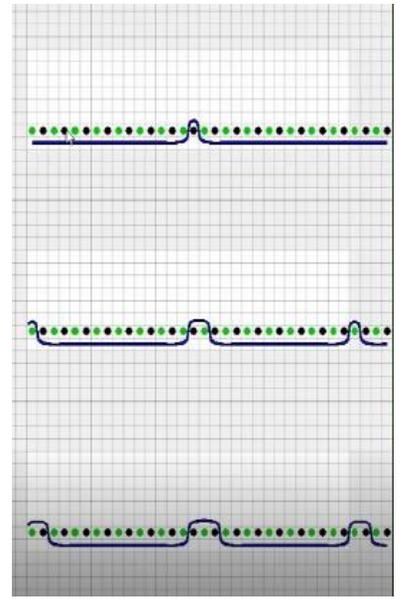
### 有限会社ビジョンジャパン

〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町2-3-3 センチュリーロイヤル601  
TEL: 06-6624-3748 FAX: 06-6624-3848  
<https://www.visionjp.co.jp> [salesvj@visionjp.co.jp](mailto:salesvj@visionjp.co.jp)



3DWeaveコンポジットでは、経糸、緯糸を設定して組織断面図を作るところから始まります。織設計作業は、主としてこの組織断面表示を使います。

組織図画面と断面図画面は互いにリンクしており、片方の編集は、自動的に、他方に反映されます。



組織作成・編集中に3次元画像で、織物構造をビジュアルに確認することができます。できあがった組織は、拡大、縮小、回転して、あらゆる角度から確認できます。

また、レイヤーを分離して表示したり、非表示にして、必要な内部構造をピンポイントでチェックすることができます。

完成した織組織は、ストープリ、ボーナスなどのジャカードデータを出力できます。  
(Unival用出力対応済)

織機のコントロールは、自由に定義できるメートルが25本あり、細かい制御信号が定義でき、織機、ジャカードのカスタマイズにも対応できます。

